

受験番号

2026年度 大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

専門科目〔心理学研究の基礎〕

評価	
----	--

I. 以下の人物と関連のある用語を以下の A.~K.から選びなさい。 (1点×10=10点)

- ① F.Heider    ② M.S.Mahler    ③ C.R.Cloninger    ④ L.Witmer    ⑤ J.Piaget  
 ⑥ E.C.Tolman    ⑦ W.Stern    ⑧ H.P.Grice    ⑨ C.E.Izard    ⑩ G.W.Allport

- A. スキーマ    B. バランス理論    C. 気質-性格理論    D. 会話の公理  
 E. 分化情動説    F. 分離個体化説    G. 潜在学習    H. 特性論  
 I. IQ    J. clinical psychology

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

II. 各設問に対して、最も適切な選択肢を A~Dの中から一つ選び、記号に○をつけなさい。 (2点×10=20点)

①実験計画において、妥当性とは何を示す指標か？

- A. 測定項目の正確性  
 B. 測定の再現性  
 C. 客観性  
 D. 倫理的適正

②客観性とは実験データにおいてどういう意味か？

- A. 誰が測定しても結果が変わらないこと  
 B. 結果が正しいこと  
 C. 測定が倫理的であること  
 D. 実験参加者に気づかれない測定

③実験の「剰余変数」を減らすための方法として適切なものはどれか？

- A. 実験参加者数を増やす  
 B. 無作為化, マッチング, カウンターバランス法など  
 C. 測定機器を最新にする  
 D. 仮説を明確にする

(次の頁に続きます)

(Ⅱ.の続き 各設問に対して、最も適切な選択肢を A～D の中から一つ選び、記号に○をつけなさい。)

- ④実験計画における「カウンターバランス法」は何を調整するための方法か？
- A. 実験参加者の動機づけ
  - B. 条件順序の交絡
  - C. 測定誤差
  - D. 主観的回答の偏り
- ⑤心理学研究において、カテゴリカルなデータに適した検定法は次のうちどれか？
- A.  $t$  検定
  - B. 分散分析 (ANOVA)
  - C. マンホイットニー検定
  - D.  $\chi^2$  検定
- ⑥分散分析 (ANOVA) において、実験操作によって変化する要因を何と呼ぶか？
- A. 従属変数
  - B. 剰余変数
  - C. 独立変数
  - D. 媒介変数
- ⑦事例研究で個人情報に記載する際に、最も重視すべき倫理的配慮は何か？
- A. 研究の新規性
  - B. データ収集の効率性
  - C. インフォームド・コンセントの取得
  - D. 匿名化とプライバシー保護
- ⑧ランダム化比較試験 (RCT) の最も重要な特徴は何か？
- A. 少数の実験参加者で実施されること
  - B. 倫理審査が不要であること
  - C. 実験参加者をランダムにグループに割り当てること
  - D. 実験室でのみ実施されること
- ⑨尺度水準のうち、順序に意味があり、等間隔ではないものを何と呼ぶか？
- A. 名義尺度
  - B. 順序尺度
  - C. 間隔尺度
  - D. 比例尺度
- ⑩心理学研究において、研究デザインの選択は主に何によって決定されるか？
- A. 研究者の個人的な好み
  - B. 利用可能な研究資金の量
  - C. 研究クエスションと目的
  - D. データ収集にかかる時間

(次の頁に続きます)

III. 調査面接法について、ラポール形成とインフォームド・コンセントとの関係について説明しなさい。(10点)

IV. 以下の用語の意味を説明しなさい。(5点×2=10点)

① ストレンジ・シチュエーション法

② 第一種の誤り (Type I error)